

東京の空に
ふたたび羽ばたけ!

コウノトリが はこぶ 荒川の未来

関東エコロジカル・ネットワークの
形成を目指して

コウノトリって
どんな鳥?

荒川に
昔はいたの!?

来てくれると、
こんないいことが!?

初心者むけ
野鳥などの
観察会を
します

平成29年 1月11日(水) - 2月19日(日)



荒川知水資料館 2階企画展示スペース

【開館時間】 9:30-16:30 【休館日】 毎週月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日

赤ちゃんや幸せをはこぶことで有名な鳥、そして豊かな自然のシンボルであるコウノトリ。昔は日本のいたるところでくらしていました。

しかし、自然が破壊され、昭和46年を最後に日本の空から姿を消してしまいました。

その17年後（1988年）に多摩動物公園でコウノトリの飼育下での繁殖が成功し、34年後（2005年）には兵庫県豊岡市で国内初の自然放鳥が行われました。

いま、関東では、市町村や国土交通省が中心になって、コウノトリなどをシンボルとした「関東エコロジカル・ネットワーク」の形成を目指した取り組みを進めています。

実は荒川でも、コウノトリを呼び戻すための動きが始まっているのです。

この企画展では、関東エコロジカル・ネットワークとは何なのか？

なぜコウノトリをシンボルとするのか？流域にコウノトリが再び羽ばたくために、

荒川でどんな取り組みが始まっているのか？ということ

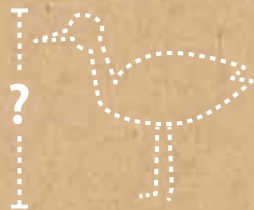
流域の皆さまに知ってもらい、身近に感じてもらいたいと思っています。

コウノトリが
はこぶ
荒川の未来



コウノトリって
どんだけ大きいの？

コウノトリって
大きいの？



?
どのくらいエサを
食べるの？

どんな暮らしを
しているの？



など

初心者
むけ

野鳥などの観察会

コウノトリがくらしやすい環境についてお話し



過去に自然を取り戻した「北区・子どもの水辺」で、水鳥を中心とした野鳥などの観察会を行います。荒川の下流域で、将来コウノトリが訪れてくれるためにできることを一緒に考えましょう。双眼鏡は貸し出します。

2月4日(土)、2月5日(日)

小雨決行、雨天中止、両日ともに14:00～15:30、無料

[受付] 当日受付 12:50から定員30名になり次第、受付終了

[集合] 荒川知水資料館 1F 受付前

[持ち物] 暖かい服装、お持ちの場合は図鑑・双眼鏡（双眼鏡は貸し出し有）

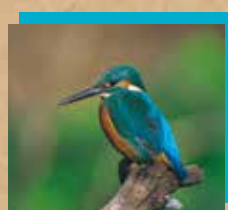
[問合せ] (公財)日本生態系協会 Tel.03-5951-0244



コガモ



コサギ



カワセミ

荒川知水資料館 入館無料

[開館時間] 9:30-16:30

[休館日] 月曜日(祝日除く)、祝日の翌日

〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1 Tel. 03-3902-2271

http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index045.html

アクセス

南北線「赤羽岩淵駅」徒歩15分

JR「赤羽駅」徒歩20分

都営バス「志茂2丁目」徒歩10分

専用駐車場はありません

公共の交通機関をご利用ください

